

みずほCustomer Desk Report 2025/02/07号(As of 2025/02/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	152.64
TKY 9:00AM	152.64	1.0399	158.75	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	152.90	1.0406	158.80	1.2501	0.6286
SYD-NY Low	151.24	1.0354	157.06	1.2509	0.6288
NY 5:00 PM	151.48	1.0384	157.30	1.2361	0.6255
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,747.63	▲ 125.65	日本2年債	0.7600%	0.0000%
NASDAQ	19,791.99	99.66	日本10年債	1.2600%	▲0.0200%
S&P	6,083.57	22.09	米国2年債	4.2118%	0.0250%
日経平均	39,066.53	235.05	米国5年債	4.2745%	0.0255%
TOPIX	2,752.20	6.79	米国10年債	4.4352%	0.0121%
シカゴ日経先物	39,010.00	5.00	独10年債	2.3725%	0.0135%
ロンドンFT	8,727.28	103.99	英10年債	4.4820%	0.0470%
DAX	21,902.42	316.49	豪10年債	4.3130%	▲0.0720%
ハンセン指数	20,891.62	294.53	USDJPY 1M Vol	10.53%	0.39%
上海総合	3,270.66	41.17	USDJPY 3M Vol	10.45%	0.17%
NY金	2,876.70	▲ 16.30	USDJPY 6M Vol	10.26%	0.16%
WTI	70.61	▲ 0.42	USDJPY 1M 25RR	▲1.62%	Yen Call Over
CRB指数	307.46	▲ 0.52	EURJPY 3M Vol	10.59%	▲0.07%
ドルインデックス	107.69	0.11	EURJPY 6M Vol	10.50%	0.06%

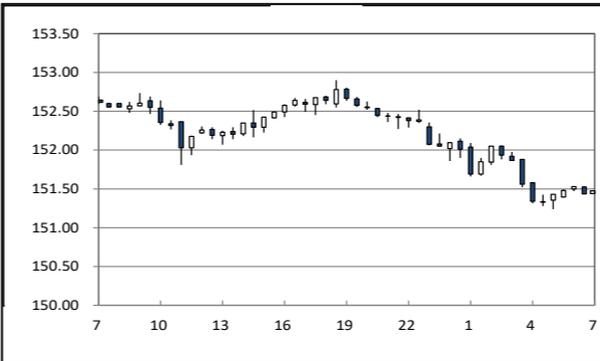
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月6日	10:30	日 田村日銀審議員 講演		「25年度後半に少なくとも1%程度まで利上げ必要」
	16:00	独 製造業受注(前月比)	12月 6.9%	2.0%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -0.2%	-0.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Feb 219k	213k

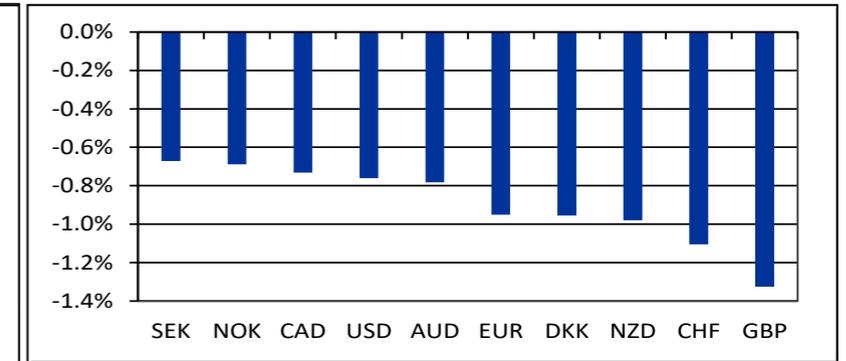
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -0.7%	1.5%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 175k	256k
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.3%/3.8%	0.3%/3.9%
	22:30	米 失業率	1月 4.1%	4.1%
2月8日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 71.8	71.1
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 -0.5%	-0.5%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	12月 0.5%	0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.70-152.70	1.0300-1.0500	156.00-158.50

【マーケット・インプレッション】

昨日は田村日銀審議員による発言を受け、ドル円は一時152円を割り込んだ。その後は反発する場面が見られるも、上昇は一服。米国時間ではドル売りの流れが一段と加速し、一時151.24を付ける場面が見られた。足許のドル円相場の急落を受けて、本邦実需勢による下値を拾う動きが出てきやすいものの、米雇用統計発表を控え積極的なドル買いには傾きづらく、引き続き軟調な推移を予想する。今回は1月の雇用統計に加え、前年3月までの1年間の年次ベンチマークの改定が発表予定。ただし結果が市場予想から大きく上振れることがない限りは、ドル円のサポート材料になりづらいと考える。また米国時間未明には日米首脳会談が予定されており、円安や関税についての議論が交わされた場合、相場の急変動が見込まれるため警戒したい。

東京	東京時間のドル円は152.64レベルでオープン。日本銀行田村審議員の「25年度後半に少なくとも1%程度まで利上げ必要」や「中立金利は最低でも1%」といった発言が伝わると円買いで反応し、昨年12月12日以来の安値となる151.81まで下落。しかし売り一巡後には買戻し優勢となり152円半ばまで反発して海外へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.48レベルでオープン。全般にドル高ムードだったが、日銀審議員の発言を受けて円は堅調。152.37レベルでNYに渡った。本日、英中銀が予想通り政策金利を0.25%ポイント引き下げ4.50%とした。票割れが7対2で2人の委員が0.50%ポイント利下げを支持したことがハト派サプライズとなりポンドは対円で190円台から188円台まで急落した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円半ばでスタート。田村日銀審議員の「2025年度後半には少なくとも政策金利を1%に」との発言を受け円買いが優勢となり、151.81まで下落。その後は欧州株高や、米金利の上昇を横目に反発し、152.37レベルでNYオープン。午前中に発表された米第4四半期単位人件費が市場予想を下回ったことや、米新規失業保険申請件数が予想以上に悪化した内容を受け、ドル売りが優勢となり、152円ちょうど付近まで下落。午後は米株が上昇幅を縮小する動きが一段の重しとなり、152円台を割り込み、151.24まで続落。その後は下げ渋り、151.48レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04前半でスタート。独金利の低下を受けじり安で推移し、1.0363レベルでNYオープン。午前中は低調な米経済指標の結果を受け、ドル売り地合いから1.0370付近まで反発。午後ユーロ高の展開が続き、1.0396まで上値を伸ばす。その後小幅反落し、1.0384レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。